先人の努力継承し、さらなる前進を決意

一般社団法人 茨城県建設業協会 舗装部会 創立60周年

一般社団法人茨城県建設業協会舗装部会（秋山光伯部会長）は4月9日に設立60周年を迎え、記念式典と祝賀会を11月12日に水戸プラザホテルで盛大に開催した。式典では秋山部会長が、「60年という歴史は、先人たちのたゆまぬ努力と、関係者一人ひとりの熱意の結晶。その伝統と成果をしっかりと受け継ぎ、常に前向きに挑戦し続ける」と決意表明。また前参議院議員で全国道路利用者会議会長の佐藤信秋氏による記念講演が催された。祝賀会では岩下泰善副知事の発声で乾杯。60周年を契機に一層の発展とさらなる飛躍を誓い合った。

11月12日に挙行された記念式典には関係者が多数出席した

ごあいさつ

部会長　秋山 光伯

一般社団法人茨城県建設業協会舗装部会は昭和40年の発足以来60年という輝かしい年を迎えることとなりました。

舗装部会は高度経済成長期の幕開けとともに設立され、当時未だ主要道路ですら未舗装の区間が残る茨城県の道路網を整備するその最前線で活動を重ねてまいりました。

社会の変化とともに、舗装材料、機器、技術も大きく進化を遂げてまいりましたが、近年では、ICTやDX、AIなどデジタル技術の進歩により、建設・舗装業界も新たな転換期を迎えており、最新技術の導入や次世代技術者の育成に努めております。

またカーボンニュートラルへの挑戦やSDGs（持続可能な開発目標）の推進にも積極的に取り組み、新しい時代にふさわしい道路インフラ整備を目指しています。

舗装部会は、単なる道路の建設や維持管理にとどまらず、災害時の啓開・復旧活動やボランティア清掃活動など、多岐にわたる社会貢献活動にも力を注いで、持続可能な地域社会の実現に寄与してまいりました。

60年という歴史は、先人たちのたゆまぬ努力と、関係者一人ひとりの熱意の結晶であり、その伝統と成果をしっかりと受け継ぎ、常に前向きに挑戦し続ける決意を新たにしています。

会員企業同士の連携強化や業界内外との情報共有、人材の多様化・若手の登用など、未来に向けた新たな一歩を皆さまと共に踏み出してまいります。

最後に、舗装部会の60年の歩みを支えてくださったすべての皆さまに、心より深く感謝申し上げますとともに今後とも、舗装部会が地域社会の信頼に応え、より良い社会基盤整備に貢献できるよう、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

岩下副知事が乾杯を発声

さらなる飛躍を誓い合った

茨城県副知事
岩下　泰善

来賓祝辞

茨城県土木部長
和賀　正光

この10年間で広域交通ネットワークや企業立地が進んでいる。一方で、大型車交通量の増加に伴い効果的な舗装修繕や長寿命化が重要となっている。またカーボンニュートラルの実現に向けて道路分野の脱炭素化も重要性を増している。そんなな中、舗装では中温化合材などの二酸化炭素の排出量を抑える技術も期待されている。ますます活躍が期待される舗装部会に、今後とも一層のご協力をお願いしたい。

茨城県議会土木企業立地推進委員長　髙橋　勝則

災害に強い県土づくりを着実に推進していくため、地元の厚い信頼と優れた技術力をつないだ建設業界の皆さまのお力が是非とも必要であり、また地域の経済と雇用を支える意味でも大きな役割が期待されている。私ども県議会としても県議もが安心して安全に暮らせる茨城づくりに全力を尽くしていく。どうか皆さまも創立60周年の節目に当たり、一層のご尽力をお願いしたい。

茨城県建設業協会長
石津　健光

建設業は若者に選ばれる業界となるべく働き方改革を協力に進めるとともに、子供達と保護者に魅力発信を一層強化していく必要がある。舗装部会は、舗装工事へのICT活用や一番生活に身近な道路という側面から建設業の魅力を発信していただきたい。舗装をはじめ建設業の技術は飛躍的に進歩している。今後とも舗装部会の皆さまが一層研さんを積まれ、大きく飛躍されることを心から期待している。

茨城県道路整備促進協議会長
先崎　光

近年は大地震、台風、豪雨などの激甚化、頻発化している。迅速な人命救助活動や復旧復興活動が円滑に進むよう、災害に強い道路ネットワークの構築が必要。また急速に進むインフラ施設の老朽化に対応するため、改築や修繕による長寿命化対策は喫緊の課題。協議会では課題解決のため国土強靱化の施策を着実に推進するべく、予算要望を進めていく。これまで以上にご支援ご協力を。

舗装部会 60年の歩み

昭和40年4月9日
［舗装部会発足］（会員19社）
部会長　武藤　彬・武藤建設㈱社長
副部会長　樋三　雄・株木建設㈱水戸支店長
理　事　日本舗道㈱水戸出張所
〃　昭和道路工業㈱
〃　日本道路㈱水戸営業所
〃　鈴縫工業㈱
監　事　東鉄工業㈱水戸支店
〃　柴山土建工業㈱

昭和40年7月7日
［初の舗装講習会開催］

昭和41年9月2日
［舗装技術研究会を設置］（委員長・鯨岡昭雄）
目　的
①舗装の工法並びに施工技術に関する試験研究
②舗装用資材に関する試験研究
③舗装用機械器具に関する研究
④付帯工事に関する研究
⑤講習会、研究会、見学会等の開催
⑥その他舗装工事に関する事項

昭和42年2月1日
［技術研究会を舗装研究室に改称］

昭和42年2月15日
［第1回研究室開催］
①上層路盤工砕石の変化率について
②研究所設置について

昭和45年11月14日
［舗装技術研修所竣工］
水戸市城南3丁目3番26号　木造平屋建

昭和45年12月1日
［現場員必携出版］
技術者の座右の書として、茨城県土木部の監修を経て初版を発行

昭和47年5月2日
舗装部会を母体として茨城県アスファルト合材協会が設立

昭和48年12月12日
［栃木・群馬・茨城舗装三県合同協議会発足］
北関東三県で舗装関係の共通する課題の研究を進める。年1回各県持ち回りで開催

昭和50年5月8日
［舗装部会創立10周年を迎える］
新規入会6社を加え、会員42社となる。

昭和52年2月
財団法人茨城県建設技術管理センター竣工。舗装部会より研修所の試験機器を寄贈

昭和60年10月15日
舗装部会創立20周年、同記念誌発行並びに舗装工事提出書類参考実例集発刊記念式典を挙行

平成7年5月30日
第31回定時総会・舗装部会創立30周年記念祝賀会

平成17年5月23日
舗装部会創立40周年を迎える。

平成27年11月25日
舗装部会創立50周年記念式典と祝賀会を挙行。

平成28年7月4日
定時役員会、祝賀会（石津健光氏・日本アスファルト合材協会長就任）

平成28年7月13日
舗装三県合同協議会（茨城県）

令和元年10月16日
舗装三県合同協議会（茨城県）

令和2年5月18日
第56回定時総会（コロナ禍により書面評決）

令和7年11月12日
舗装部会創立60周年記念式典と祝賀会を挙行。

記念講演「国土強靱化と道路舗装」

全国道路利用者会議会長
前参議院議員　佐藤信秋

一般社団法人
茨城県建設業協会　舗　装　部　会

〒310-0062　茨城県水戸市大町3-1-22　TEL&FAX　029-226-0175

部会長　秋　山　光　伯　　副部会長　関　　和　郎

㈱秋山工務店
飯島建設㈱
㈱伊東建設
宇野建設工業㈱
㈱大貫工務店
㈱折本工業
㈱霞工業
株木建設㈱茨城本店
㈱木村工務店
㈱進栄
㈱鯉淵工業
幸武建設㈱
正栄工業㈱
常総開発工業㈱
昭和建設㈱
鈴縫工業㈱
仙波建設㈱
大昭建設㈱
大昭工業㈱
高橋建設㈱
㈱瀧工務店
田口建設工業㈱
㈱田口工務店
東新建設㈱
東洋工業㈱
㈱内藤工務店
長山工業㈱
成島建設㈱
日興建設㈱
㈱根本工務店
日立土木㈱
平和建設㈱
細谷建設工業㈱
誠殖産工業㈱
増子建設㈱
森田建設工業㈱
谷原建設㈱
令和建設㈱